

事業所名		キッズステーション 蒼組				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	7 月	22 日
法人（事業所）理念		私たちの事業所は、インクルーシブなデイスービスを目指しています。介護保険のデイスービスと放課後等デイスービスを融合させることで、世代を超えたつながりを生み出し、それぞれが支え合いながら成長できる場を提供します。 私たちが大切にするのは、「人と人とのつながり」です。療育とは、決して一方通行の支援ではなく、関わるすべての人が互いに学び合い、成長していくこと。その想いを胸に、一人ひとりに寄り添いながら、温かい居場所を築いていきます。									
支援方針		・子どもたちの純粋な笑顔や、無限の可能性を感じ、誰もが共に支え合い、成長できる環境をつくる。 ・年齢や障がいの有無を超えて、人と人とが自然に関わり合いながら生活できる力を育てる。									
営業時間			9 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	自己の身体と向き合う時間を設け、自分自身の力でヘルスケアを行う経験を積み重ねていく。 職員など、周囲の人の援助を受けながら、時間の認識とスケジュール管理の大切さを理解していく。									
	運動・感覚	集団で行うレクリエーションを通して、体を動かすことの楽しさを実感させていく。 さまざまな作業に取り込むことで、指先のトレーニングや協調運動を行い、感覚統合を目指していく。									
	認知・行動	いろいろな活動を通じて、多くの出会いと経験を積み重ね、自己理解を深める。 得意なことを認識することで、自らの言動に自信を持ち、自己肯定感を高める。									
	言語 コミュニケーション	顔や口周りの運動を行うことで、滑舌の改善や正しい発語を目指す。 自分の気持ちを表出する力だけでなく、相手の気持ちに寄り添い、傾聴する力も、身につける。									
	人間関係 社会性	職員や高齢者メンバーとの遊びやレクリエーションを通して、異年齢者との相互理解を目指す。 複数の活動に取り組みながら、次の活動への移行に伴う、気持ちを切り替えるためのスキルを習得する。									
家族支援		家族と面談を定期的に行い、児童の現状や困りごとを共有するとともに、家族のストレスの軽減に務める。また、進学や就労など、将来的なビジョンや見通しについて、一緒に考えていく。					移行支援	療育の先にある「自立」への道筋を確立するために、情報提供やカウンセリングを、家族や児童本人に対して行っていく。			
地域支援・地域連携		市内の不登校児童支援団体と連携し、相談や説明の場を作る。また、地元自治会と連携し、地域の活性化に寄与する。さらに市や福祉団体が実施するイベントに参加し、連携を強化する。					職員の質の向上	児童の特性や発達障がいに関する研修や、ケース会議を適宜、実施する。			
主な行事等		市内公共施設等の見学を兼ねた機能訓練、事業所の近隣清掃、公園清掃、野菜等の収穫、誕生日会、軽作業（主にアルミはがし）、レクリエーション活動 等									